

企業経営にプラス^{plus}するワンポイント情報誌

plus

秋田県商工会連合会報

Akita Prefectural Federation of
Societies of Commerce and Industry

毎月1日発行 発行日/令和5年12月1日
(昭和45年12月3日第3種郵便物認可)

あきた Biz 12

2023
December
Vol.599

地域の活性化なくして事業者の発展なし
未来の姿を描いて挑む独自戦略



大仙市商工会の独自戦略で開発した「だいせんごぼほり米粉ブラウニー」

県内 21 商工会と県連合会は、平成 29 年度から 5 年間にわたり
個社支援に重点を置いた「商工会創生プラン」に取り組み、昨年度、
「全国商工会グランプリ」を受賞しました。

令和 4 年度からは、これまでの個社支援に、県内各地域の経済
を活性化する活動を加え、発展させた「商工会成長プラン '22-26」
(以下、「成長プラン」という。)を推進しております。

その中で、各商工会が創意工夫し、地域の強みを活かして取り組
む「独自戦略」は、成長プランの目玉であり、秋田県経済に大きな
インパクトを与えることが期待されます。

本号では、商工会の「独自戦略」の中から、9 商工会の取組を紹
介します。

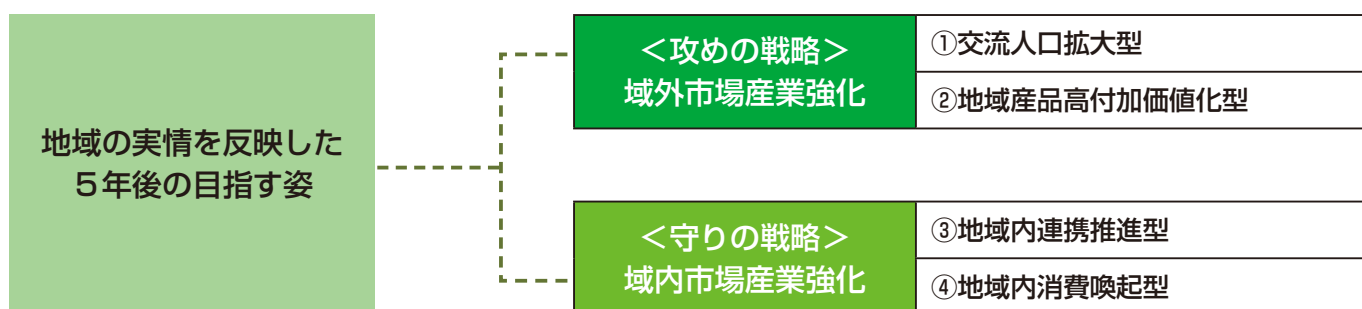
秋田の未来を支える商工会の独自戦略

独自戦略とは

まず、商工会が5年後に地域経済や事業者をどういう状態にしたいかを設定しました。その上で、各商工会が目指す姿を実現するため何を実行するかを組み立てたものです。

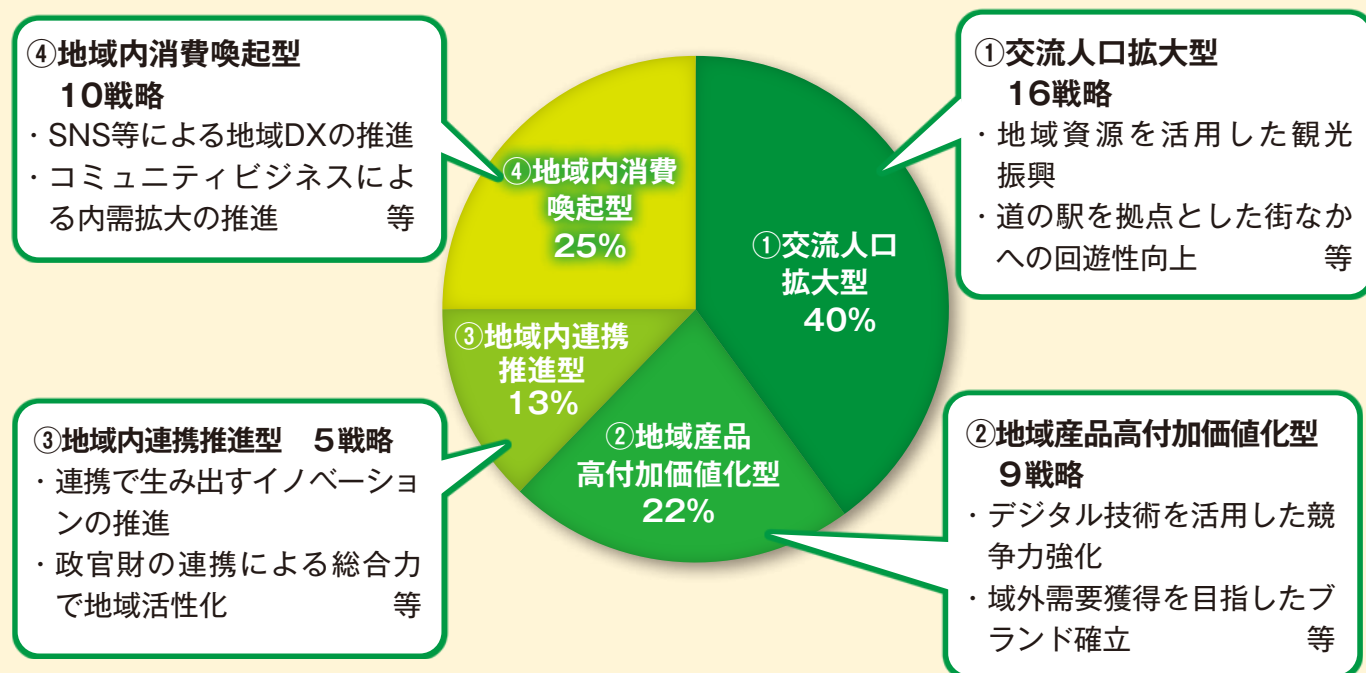
独自戦略の体系

独自戦略は、地域経済を構成する地域外の市場で活動する産業と地域内の市場で活動する産業の両面を強化することを目的としています。



独自戦略の内容

21商工会が地域事情を反映し、創意工夫した合計40戦略を推進しています。その独自戦略の構成割合は以下のグラフのとおりです。



各商工会が取り組んでいる独自戦略の中から特徴的なものを次のページ以降でご紹介します。

独自戦略実施2年目の取組状況を事務局に伺いました

県北地区

大館北秋商工会

地域産品
高付加価値化型

地域資源の活用による稼ぐ力の強化

主なアクション

- ・20種類以上の地域資源をリストアップしました。
- ・その中から大館の新名物「ありそうでなかったご当地フード」の6つの候補メニュー案をレシピ化しました。
- ・商工会役員等による試食及びアンケートを実施しました。

成 果

- ・ご当地フード候補として、地場産品である馬肉、えだまめ、比内地鶏を使ったコロッケ3品目に絞り込みました。
- ・商品化に向けた試作品製造及び販売業者を会員事業者から選定しました。

今後の展望

- ・商品化に向け、試作品製造と試食会の開催によるアンケート調査でレシピのブラッシュアップを図ります。
- ・選定した事業所での提供を実現します。また、取扱業者を広げていき、他の会員事業者に普及させていきます。

事務局長
田中 俊彦



試作した「えだまめコロッケ」

ニツ井町商工会

交流人口
拡大型

「道の駅ふたつ」から街なかへの回遊性
向上による交流人口の増加

主なアクション

- ・商店街活性化の拠点「恋文すぽっときみまち」で、能代市公式観光アプリ「能代きみまち散歩」の店舗登録と、電子クーポン券発行を支援しました。
- ・街なか誘客パンフレット「おらほの街の宝もん」を発行しました。
- ・道の駅ふたつと連携しタンDEM自転車などのレンタサイクル事業を始めました。

成 果

- ・観光アプリの登録店は14件になりました。
- ・アプリ登録店舗での電子クーポン利用が52回となりました。(R4年9月～R5年10月末)
- ・レンタサイクル利用者は116名となり、きみまち阪などの見所を経由した街なかへの誘客につながりました。

今後の展望

- ・観光アプリの登録・活用を推進し、登録店を35件まで増やすことが目標です。
- ・街なか誘客パンフレット「おらほの街の宝もん」と「能代きみまち散歩」を効果的に活用して、年間来場者数100万人の道の駅から少しでも多く街なかへの誘客につなげていきたいです。

事務局長
榎 英孝



街なか誘客パンフレット「おらほの街の宝もん」

白神八峰商工会

地域内連携
推進型

政官財の連携による八峰町の総合力で
地域活性化への挑戦

主なアクション

- ・水産庁へ「岩館漁港における養殖生産拠点の整備促進」について要望を提出しました。
- ・輝(かがやき)サーモンのPRを実施しました。
- ・道の駅移転に向けて「三重県多気町 VISON」を視察しました。

成 果

- ・令和4年に、サーモンの稚魚500匹仕入の内361匹の養殖に成功し、県内スーパーで販売しました。同じく、令和5年に1000匹仕入の内、大雨及び寒波等の災害を乗り越え550匹の養殖に成功し、販売しました。
- ・町内で輝サーモンを使用した海鮮丼が商品化されました。

今後の展望

- ・サーモン養殖事業の拡大による漁業者の漁獲量と収入の安定を目指します。
- ・道の駅移転に向けてお土産品の開発、販売を実現します。

事務局長
小玉 育宏



あわびの里づくり祭りで輝サーモンPRの様子

中央地区

男鹿市商工会

交流人口
拡大型

男鹿の魅力を活かした観光地づくりの推進

主なアクション

- ・地域のグルメやアクティビティなど、新たな観光コンテンツの調査研究をしました。
- ・まち歩きマップ「バズるぜ男鹿のまち歩き（船川編）」を1万部作成しました。

成 果

- ・まち歩きマップを、道の駅おが等33ヶ所に設置したほか、船川港に寄港した観光クルーズ船の乗客等1,460名に配布し、約70名がマップを活用し飲食店や観光スポットを訪れました。

今後の展望

- ・今年度は男鹿半島北部（北浦漁港付近）のまち歩きマップを作成しています。
- ・まち歩きマップを活用して、観光客数の増加と地域内の消費拡大を図っていきます。
- ・近隣商工会と連携した広域周遊観光ルートの企画立案にも役立てていきたいです。

事務局長
三浦 達也



まち歩きマップ
「バズるぜ男鹿のまち歩き（船川編）」

河辺雄和商工会

地域内連携
推進型

「芸術の里かわべゆうわ」プロジェクトの理念の実現

主なアクション

- ・地域の芸術家のアトリエ（工房）を、観光資源として確立するための環境整備を行いました。
- ・芸術家との意見交換会を踏まえ、国際教養大生の協力のもと「アートのある街」のコンセプト検討を行いました。
- ・芸術家によるワークショップを開催し、地域の子供たちとPR看板を制作しました。

成 果

- ・芸術家と地域の子どもたちが共同制作したPR看板を設置しました。
- ・昨年度、ガイドブック「ちよいなびかわべゆうわ」を6,500部発行し、秋田空港や市内の観光案内所等、約50箇所に設置しました。
- ・「ちよいなびかわべゆうわ」をきっかけに、地方紙で6回シリーズの特集記事が組まれ、地域内事業者（芸術家等）が紹介されました。

今後の展望

- ・「アートのある街」としての情報発信を通じて、地域の魅力も伝えていきます。
- ・事業者と芸術家とのコラボレーションや、作品展示の協力店舗の増加を図ります。
- ・雄和地区から秋田公立美術大学までのルートを「芸術の文化ロード（仮称）」として、確立することを最終目標に事業展開を行います。

事務局長
木村 和徳



制作したPR看板

にかほ市商工会

地域内
消費喚起型

にかほ市の内需を拡大するコミュニティビジネスの推進

主なアクション

- ・国際教養大生と連携し、「出前商店街事業」の現状調査を行いました。
- ・調査後は、大学生、専門家、出前商店街関係者との意見交換や調査結果分析を行いました。
- ・専門家や行政を交え、「新コミュニティビジネス検討会議」を開催しました。

成 果

- ・現状調査で、出前商店街の来場者には、人とのつながりや新たな体験を求めるニーズがあることが分かりました。
- ・意見交換会及び検討会議において、既存の取組に体験や共感の要素を盛り込んだ、テスト事業「にかほマルシェ」の開催が決定しました。

今後の展望

- ・「出前商店街事業」と「にかほマルシェ」を合わせて、来場者数600名を目指します。
- ・人とのつながり、生涯学習などをキーワードに、コミュニティビジネスの参画事業者を増やしていきます。

事務局長
佐々木 広美



出前商店街での現地調査

県南地区

大仙市商工会

地域産品
高付加価値化型

一次産品に付加価値を付けた大仙ブランド
新商品づくり

主なアクション

- ・地域資源、経営資源を洗い出し、国際教養大生の意見を取り入れた商品を試作しました。
- ・試作品の試食及びアンケート調査を実施し、試作品の改良を行いました。

成果

- ・「ごぼう」と「米粉」を活用した「だいせんごぼほり米粉ブラウニー」を商品化し、販売に至りました。
- ・将棋竜王戦大仙対局勝負めし候補メニューとして採用され、メディアでも取り上げられ、知名度が上がりました。

今後の展望

- ・管内食品製造業者等へ「ごぼう」と「米粉」を活用した各店独自の「だいせんごぼほり米粉ブラウニー」の商品化を呼びかけていきます。
- ・特色ある地域資源を活用した新たな商品の試作とシリーズ化を計画しており、実現に向けて取り組んでいきます。

事務局長
高野 正彦



「だいせんごぼほり米粉ブラウニー」
の開発会議の様子

ゆざわ小町商工会

交流人口
拡大型

地場産業の新価値創造と交流人口の拡大

主なアクション

- ・「稲庭うどん振興条例」制定に向け、議会と協議しました。
- ・「全国まるごとうどんエキスポ2023」を稲川地区に誘致しました。

成果

- ・9月22日、「稲庭うどん振興条例」が議会で可決されました。
- ・9月30日～10月1日の2日間、「全国まるごとうどんエキスポ2023」が湯沢市役所稲川庁舎前で開催され、延べ約7万人が訪れ、経済効果は約3.9億円にのぼりました。

今後の展望

- ・県内の稲庭うどん生産者を対象とした「稲庭うどん協議会（仮）」の設立及び知的財産保護のため地理的表示（GI）保護制度への登録を目指します。
- ・稲庭うどんや川連漆器などの地場産業と観光資源との連携を図り、交流人口の拡大に結び付けていきます。

※地理的表示（GI）保護制度・・・農林水産省による、その地域ならではの生産方法や、気候・風土などの特性により評価を受けている産品の名称を、地域の知的財産として保護する制度

事務局長
佐藤 敏洋



「稲庭うどん振興条例」お披露目の様子
市長（左）、会長（中央）、議長（右）

羽後町商工会

地域内
消費喚起型

地域連携・情報発信強化による羽後町の
賑わい創出

主なアクション

- ・国際教養大生と連携し、羽後町を堪能する周遊型観光モデルコースの研究と体験紹介動画の作成を行いました。
- ・道の駅の集客力を活かし、地域内周遊を促進するため、道の駅内に大型モニターを設置しました。

成果

- ・若者の視点を活かし、西馬音内盆踊りや西馬音内そばなどの地域資源を巡る、日帰り・1泊2日コースの計6コースを設定しました。
- ・具体的には、「レトロな伝統文化&グルメ体験コース」、「暮らすように旅するコース」、「みんなでピクニック気分ドライブコース」です。
- ・「AIU×観光プロジェクト」で羽後町の伝統や文化を学びながら、グルメを堪能する体験紹介動画を作りました。

今後の展望

- ・道の駅内の大型モニターを活用し、観光体験動画や個店情報の放映を予定しており、より一層の地域内周遊を促進します。
- ・観光モデルコースと商業施設のタイアップを推進し、9つの新たな周遊型観光メニューを提案していきます。

事務局長
藤原 太



道の駅うごの大型モニター

お知らせ

祝

令和5年 秋の叙勲

旭日双光章 三種町商工会 元会長 金子 芳継 氏



三種町商工会元会長の金子芳継氏が、令和5年秋の叙勲において、旭日双光章(地方自治功労)を受章されました。
誠におめでとうございます。

第63回商工会全国大会が開催されました

11月22日(水)、東京都渋谷区のNHK ホールにて開催されました。

全国大会は、全国から約2,800名の商工会関係者、本県からは42名の商工会長等役員が参加し、茂木敏充自民党幹事長のほか、多数の国会議員、関係機関などを来賓に迎え行われました。

また、事業推進優良商工会として、「会員増強運動」では、男鹿市商工会、「共済部門」では、大仙市商工会が表彰されました。



商工会全国大会の様子

秋田県商工会連合会の政策要望について

全県21商工会と県連合会は「商工会成長プラン'22-26」に掲げる、事業者の持続的発展のため、以下を重点に国、県へ政策要望を行っています。

主要要望項目

- 1 物価高対策**
 - 適正な価格転嫁ができる取引環境の整備
 - 事業継続を支援するための一時支援金の創設
- 2 人手不足対策**
 - 賃上げを実施する事業者への助成金等の支援策の拡充
 - 小規模事業者の経営実態を考慮した適正な最低賃金の決定
 - 外国人技能実習生の受入及び働きやすい環境整備の推進
- 3 税制改正への対応**
 - インボイス少額特例の拡充(1万円未満→10万円未満)
 - 事業承継税制に係る特例措置の延長

広告

商工会員だけの大きな特典
商工会が提案する4つの安心サポート

商工貯蓄共済

経営指導
経営のトータルサポート

生命保障
万が一に備えた
リスク管理サポート

資金繰り
企業の資金繰り
サポート

貯蓄
資産の充実
サポート

どちらも月々
2,000円
から

あなたも家族もまるごと守る!
頼れる補償の商工会の福祉共済

全国商工会会員福祉共済

「けが」の
補償

「病気」の
補償

「がん」の
補償



※この紙は再生紙を使用しています。

発行所／秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号秋田県商工会館内 電話／018-863-8491(代)
購読料／1部10円(会費に含む)